

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
4月3日
第37号



ユスラウメ (バラ科)

園内の自然植物区の一部を白く覆うように咲いています。ニワウメと良く似ていますが、ユスラウメは葉に毛がみられるのと1本立ちするのに対し、ニワウメは株立ちする事が大雑把な違いの見分け方です。サクランボに似た果実の内部にある種子を乾燥させたものを、毛桜桃（モウオウトウ）という生薬として用い、日本の民間薬では利尿目的に、また果実酒として滋養強壮に用いられています。和名は深津正によると、朝鮮語の「移徒楽（イサラ：移植して楽しむの意）」からの転訛と言われていますが、牧野富太郎博士は「枝をゆさぶって果実を落とした」との説もあります。

モモ (バラ科)

第一圃場の南側の自然植物区に見られます。モモといえば桃太郎、鬼ヶ島の鬼退治を思いだします。これはモモに悪霊を退ける力があるとする中国の思想が伝わった事からと思われる。名の由来は、「実が沢山なるのでモモ（百）につながる」ことからという説が納得できるのですが、いかがでしょうか？果実の殻を割った内部にある種子を桃仁（トウニン）という生薬として使い、漢方では活血化癥薬、駆癥血薬として、桃核承気湯や桂枝茯苓丸などの多くの処方に参加されています。昨年、近くに近縁種のネクタリンも植栽されました。3年後を楽しみにしています。

今、こんな草木がたのしめます

待ってまーす！！